

～「子どもだけ大人」「大人だけ子ども」な人たちへのメッセージ～

# LITTLE BIG

第48号 2011.3.31

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

このたびの東北地方太平洋沖地震の影響により、当館は当分の間休館いたします。ご了承ください。

- ・施設の破損が激しく、安全が確保できませんのでご来館はご遠慮ください。
- ・貸出中の本はそのままお持ち下さい。
- ・システム不具合のため、本の検索、横断検索等が利用できません。
- ・資料が散乱していますので、当面の間相互貸借・調査相談も中止します。

皆様にはご不便をおかけしますが、よろしくお願ひいたします。

## 【Pieces - かけらたち -】本の中の言葉

「これ、あげる」

「何ですか？」

「シュークリーム。十二個入ってるんだ。でも、全部あんたが食べたらいいよ」

私は突然ヨシコにシュークリームをプレゼントされ、ますます首をかしげた。

「全然違うってわかってるんだよ。でも、他に方法がわからないんだ。あんたがどうしたらいいかわかんないよう、私はもっとどうしたらあんたが元気になってくれるのかわかんないから…」

小林ヨシ子は照れくさそうに笑った。

『幸福な食卓』(瀬尾まいこ／著 講談社 2004年 p218)

「母親は今、店をちょっと抜けてくるそうだから、よかつたら家の中でも見てて。案内しようか？どこで判断するタイプ？」

お茶を淹れながら雄一が言った。

「なにを？」

私がその柔らかなソファにすわって言うと、

「家と住人の好みを。トイレ見るとわかるとか、よく言うでしょ。」

彼は淡々と笑いながら、落ち着いて話す人だった。

「台所。」

と私は言った。

「じゃ、ここだ。なんでも見てよ。」

「キッチン」(『はじめての文学 よしものばなな』(よしものばなな／著 文藝春秋 2007年)所収 p15~16)

## 【事典】

前回はこのコーナーで「辞典」を取り上げましたが、今回は「事典」。響きは同じですが、「辞典」は言葉の意味などを説明する本なのに対し、「事典」はことがらについて説明する本という違いがあります。

例えば『紅茶の事典』(※1)を開いてみると、「茶の化学成分」や「茶の起源」など国語辞典には載っていないような項目が載っていたり、「消費量」の項目には「茶統計で国内の茶消費量の計算は…」という風に、言葉の意味の説明ではなく「紅茶の消費量」ということがらについての説明が書いてあったりと、だいぶ「辞典」とは異なります。

『世界食べもの起源事典』(※2)では、「ショートケーキ」の項目に「食後に食べる軽いケーキの総称。(中略)1594年文献が、初見とする説がある。」と、「ショートケーキ」の「起源」ということがらについて説明されています。

事典も辞典同様、たくさんの種類が出版されていますので、面白い事典を見つけてみてください。読み込めばいろんなことに詳しくれますよ。

※1『紅茶の事典』(荒木安正・松田昌夫／著 柴田書店 2002年)

※2『世界たべもの起源事典』(岡田哲／編 東京堂出版 2005年)

~

# ナメから本を読む

このコーナーでは、テーマに合わせて本のちょっと  
変わった読み方をご紹介します。

テーマその⑧

オイシイはなし

春は新しいことが始る季節。でも、お腹が空いていてはなにもできません。

そこで今回は食べものや料理に関連した本をご紹介します。読んでいるうちに食欲がわいてきちゃうかも？

## ★「食べもののある風景」がある小説★

書名	著者名	出版社	出版年	内容
『幸福な食卓』	瀬尾まいこ／著	講談社	2004年	父が別居中の母の店で買ってきた桜餅、兄の恋人が作った、乱暴に紙袋に詰め込まれたシュークリームなど、印象的な食べ物のシーンがあります。
『蜜蜂の家』	加藤幸子／作	理論社	2007年	母親との関係が嫌になり、東京を飛び出した理枝。再就職先は養蜂場！自然の中ではちみつ作りに打ち込むうちに…？
「カレーライス」 (『はじめての文学 重松清』所収)	重松清／著	文藝春秋	2007年	お父さんが子どもの成長をカレーの味を通して感じる場面に、自分が「甘口」を卒業した時のことを見い出す人もいるのでは。

## ★「食べもの」関連の本★

書名	著者名	出版社	出版年	内容
「つくってあそぼう」 シリーズ		農山漁村文化 協会	2004年～	『ソーセージの絵本』『アイスクリームの絵本』など、作り方からそれにまつわる文化まで紹介されています。※シリーズ中には食べ物がテーマではない本もあります
『コンビニ弁当16 万キロの旅』	千葉保／監修 太郎次郎社工 ディタス		2005年	普段何気なく食べているコンビニ弁当。どんな風に作られているか、その裏側をのぞいてみましょう。
『料理の仕事が したい』(岩波ジュニア新書)	辻芳樹／編	岩波書店	2006年	レストランのオーナーや菓子職人、ソムリエなど「食」の分野で活躍している16人が修行時代のエピソードや失敗談、料理へのこだわりを教えてくれます。
『絵本の中のおい しいスープ』	東条真千子／著	インフォレスト	2006年	絵本の中から出てくるスープを、ちょっとり著者の想像もまじえながら再現しています。レシピも載っていますが、写真を見ているだけでも満足！